

令和元年～令和6年の12～3月(冬山)の山岳遭難事故発生場所

～阿弥陀岳南稜、大同心大滝、ジョウゴ沢乙女の滝等でのアイスクライミング、道迷いや滑落による重大事故が多発しています～

【天候急変への注意】

- ・冬場の山は、突然天候が悪化することがあります。時間に余裕を持ち、無理な行動は控えてください。早めに引き返すなど、安全を第一とした行動を心掛けてください。

【道迷いへの注意】

- ・樹林帯は登山道を示す赤テープ等の目印が雪に埋もれ、見つけにくくなっています。
- ・道標や山頂柱が雪に埋もれ、分岐点や山頂を見落とすことがあります。
- ・雪に埋もれた幼木帯では背丈以上に落ち込むことがあります。脱出困難な場合があります。
- ・地形図やコンパス等（GPS可）で現在地の確認を細やかに行うことが重要です。

北八ヶ岳では道迷いに注意



天狗岳付近 (9件)
滑落・転倒・疲労・凍傷・道迷い
※重傷者あり

東天狗岳付近 (2件)
道迷い・凍死
※死亡者あり

硫黄岳付近 (4件)
転倒・疲労・凍傷・道迷い
※死亡者あり

阿弥陀岳付近 (15件)
転倒・転落・滑落
※重傷者あり

横岳付近 (5件)
転落・疲労・凍傷
※重傷者あり

赤岳付近 (22件)
転倒・滑落・病気・道迷い
※死亡・重症者あり



株式会社サンニチ印刷提供

南ハケ岳での下山中の滑落事故多し